

令和8年度 北海道高等聾学校 学校経営計画

| | | |
|--|--|--|
| 目指す学校像 保護者と地域の理解と信頼のもと生徒・学生と教師 ・職員が、自分のもてる力を発揮できる学校 | 目指す生徒・学生像（校訓） ・進んで実行する人になろう（自主・自立） ・働くよろこびを知る人になろう（勤労・責任） ・伝え合うよろこびを知る人になろう（対話・協働） | 目指す教職員像 ・生徒・学生の内面を理解し信頼される教職員 ・専門性や指導力の向上のため学び続ける教職員 ・互いに支え合い、組織的・計画的に業務を推進する教職員 |
|--|--|--|

| 学校教育目標 |
|--|
| ・個に応じた教育を進め、言語的思考力と自ら学ぶ力を育てる。（知識・技能） ・自己理解を深め、的確にコミュニケーションを行う力を育てる。（思考力・判断力・表現力） ・集団生活をとおして、ものの見方、考え方を広げ、個性を伸ばし豊かな人間性を育てる。（学びに向かう力・人間性等） |

| 本年度の重点 |
|---|
| ＜重点教育目標＞ ・学ぶ喜びを実感できる授業づくりと確かな学力の育成 ・多様なコミュニケーション方法の習得と活用 ＜重点経営目標＞ ・効率的な働き方の推進と質の高い教育活動の実現 ・同僚性の向上と心理的安全性を目指した学校づくり |

| 事務 | 教務 | 舎務 |
|--|---|---|
| ・学校運営上の課題や役割の理解と学校事務の計画的な処理 ・教育活動の充実に向けた環境整備や職員相互の協力体制の推進 ・金銭事故防止に向けた適切な事務処理 | ・生徒・学生の自立と社会参加を目指した社会適応力と必要な健康や体力の育成 ・適切な実態把握と聴覚障がいの特性を踏まえた教科指導力・生徒指導力の向上 ・安全で安心な学校の環境づくりと指導の充実及びいじめ防止等の組織的な対応 ・地域や関係機関との連携強化及びろう・難聴者との関わり ・個性に応じた進路選択・決定の主体的な態度の育成 ・自立活動や総合的な探究の時間の充実によるセルフアドボカシーの育成 ・情報活用能力の向上を目指した授業改善及び授業実践 ・卒後の生活にも関わる「働く力」「生活する力」「余暇を過ごす力」の育成（重複学級） ・職業に関するより専門的な知識・技能の習得と創造性豊かな社会生活ができる力の育成（専攻科） | ・基本的生活習慣や社会性の育成 ・生徒・学生の自主性や社会性の涵養 ・危機管理の意識向上及び環境づくり ・確実な連携・連絡体制の向上 ・寄宿舎における指導力向上を目指した研究・研修の充実 |

| 指導方針 |
|--|
| ・発達の連続性を踏まえ、自分の力で考え、判断し、表現できる生徒・学生の育成に努める。 |

| 経営方針 |
|---|
| ・学校経営への参画意識を高め、情報を共有し、「不易」と「流行」を効果的に位置づけた学校づくりに努める。 |

| 指導の重点 |
|---|
| 1 教材研究の充実と専門性向上のための研修を深め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善及び一貫性のある教科指導力・生徒指導力の向上に努める。 2 主観的・客観的・共感的な理解に基づく実態把握と聴覚障がい教育の専門性の充実に努める。 3 キャリア教育の一層の充実に向けて、自己理解を深め、進路や自己実現への意識を高める指導の充実に努める。 4 他の障がい種の知見を広げ、生徒・学生の特性を踏まえた指導・支援に努める。 5 指導の質の向上を目指し、多様な研修や授業研究・実践研究を中心とした学び合いに努める。 |

| 経営の重点 |
|--|
| 1 安全で安心な学校の環境づくりと指導の充実及びいじめ防止等の組織的な対応に努める。 2 教職員が自ら効率的な働き方を具体的に見直し、健康を維持し、質の高い教育実践に努める。 3 心理的安全性を保障した組織づくりに努める。 4 「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会）を活用し、社会に開かれた学校づくりと、地域と連携した教育活動に努める。 5 地域の特別支援教育の推進のため、特別支援教育のセンター的機能の発揮に努める。 |